

### 令和六年歌会始のお題

歌に詠む場合は「和」の文字が詠み込まれていればよく、「平和」、「調和」、「和服」のような熟語にしても、また、「和らぐ」、「和む」のように訓読しても差し支えありません。

## 和

### 詠進歌の詠進要領

◆詠進歌はお題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。

◆書式 用紙は半紙とし、記載事項は全て毛筆で自筆してください。  
(書式図参照)

◆期間 9月30日(土)まで(消印有効)

◆宛先 〒100-8111 宮内庁 ※封筒に「詠進歌」と記載

お題「和」

〒住所 (山折り)  
電話番号  
氏名  
生年月日  
性別  
職業

書式図(半紙横長)

☞詳細は「令和六年歌会始」で検索

### 双葉俳壇 一六二回句集【岩城】

土筆摘む母と一緒の幼き日  
伊佐 幹男

土筆摘むにこにこ笑顔まぶしくて  
田中 華丘

せせらぎに土筆伸びやか透通り  
澤田 丈子

客船を洗うホースの水温む  
幸本 郁夫

嫁よりの優しきライン水温む  
山元 征子

生活の歩ゆるめし日なり水温む  
美濃部妃苗

水温む列島燃ゆる WBC  
森本 伸子

野の香り指に移してつくし摘む  
古林 幹枝

犁鋤を浸す小池の水ぬるむ  
田名後篁雨

水取りや善男善女の火照り顔  
幸本 孤燈



## カントリーロード

『カントリーロード』という歌を知っているでしょうか。映画「耳をすませば」の中に、日本語バージョンがあります。オリジナルバージョンは、ジョン・デンバーが英語で書いた曲です。

このオリジナルバージョンは、私の故郷であるウェストバージニア州の話です。この曲でデンバーは、ウェストバージニアの山や川といった自然の美しさを歌っています。だから、この曲を聴くと、故郷がとても恋しくなります。でも、世界中の人たちがこの曲を愛してくれているので、嬉しくもあり、誇らしくもあります。

日本に来てから、ときどき授業で歌詞を読んで歌う練習をしていました。3月に

行われた岩城での卒業式の前に、初めて生徒の何人かと一緒にギターを弾きながら「カントリーロード」を歌うことができました。アメリカでは、声を出して歌うことを恥ずかしがる人が多いような気がします。でも、日本では、ほとんどの人が自信を持って楽しく歌っています。だから、生徒が私と一緒に「カントリーロード」を美しく大きな声で歌ってくれたときは、とても感動しました。

デンバーのバージョンを聴いたことがない方は、YouTubeで日本語字幕付きで聴いてみてください。日本語版とは歌詞の意味が違います。この曲を聴けば、ウェストバージニア出身の人の気持ちが

わかるかもしれませんよ。それでは次回まで、ニック



今月の担当 ALT ニック・パイツェル(岩城)

## わたしの 上島旅

— 第34回 —  
今月の旅人



杉中 孝仁さんご家族  
尾道市向島在住

2019年3月、私たち家族は初めて上島町を訪れました。目的は「ゆめしまサイクル2019inかみじま」。当時7歳、5歳の息子達は自分の自転車、3歳の娘は私の自転車のチャイルドシートに座っての参加でした。初めて走る岩城島、生名島、佐島、弓削島。スタート直後にアアレが降ってくるサブライズはあったものの、その後は好天に恵まれ景色は最高！途中のエイドで食べる特産品はどれも美味しかったです。息子たちもファミリーコースを走りきり、いい思い出となりました。

その後も松原でキャンプ、キッズバイクをレンタルしてサーキット、イベントや友人とのサイクリング等で上島町を訪れています。そして、今年の3月、4年ぶり

に開催される「ゆめしまサイクル2023」に参加しました。11歳と9歳になった息子たちの自転車はロードバイクに変わり、7歳の娘も自分の自転車での参加です。

今回も快晴。新しくできた岩城橋からの眺め、透き通る海、とても綺麗でした。エイドの食べ物は美味しくお腹いっぱいになりました。息子たちはそれぞれが集団に混じって走り続け、娘は坂でも止まることなく走り切りました。上島町は交通量も少なく、道も綺麗で子どもでも安心して走れます。

今回も家族にとって楽しい思い出となりました。また次回開催されることを楽しみにしています。新しい家族の思い出を作り、また上島町へ遊びに行きます。

お問い合わせ ☎0897-72-9277

上島町観光協会  
Kamijima Tourism Association

<http://www.kamijima.info>

## 魚島離島留学ミッション ミニコラム1 魚島さざなみ留学について

魚島小・中学校の存続に向けて

魚島小・中学校は明治17年に設立された歴史ある学校です。近年、少子高齢化、人口減少により、児童生徒数は小学5年生1名、中学2年生2名、計3名が在籍しています。(令和4年度現在)

魚島の関係人口を増やし、魚島小・中学校存続のために、令和5年度魚島さざなみ留学第1期生を全国から募集し、受入れを開始しました。魚島離島留学を開始するにあたり、上島町や魚島らしい名前にしたと思いたい、魚島で生活をして感じた雰囲気や「かみりん」のキャラクター設定から「さざなみ」が思い浮かび、この名前で事業をスタートしようという提案しました。

昨年夏、2泊3日親子離島留学体験を実施し、全国へ情報を発信しました。その体験会では2組6名のご家族が参加されました。(新型コロナウイルス感染拡大の影響により規模を縮小しました。)その後、10月から第1期生の募集を開始し、募集期間中に全国から18組の問い合わせがあり、そのうち11組31名が見学に来ました。その中から多数の申込みがあり、第1期生は5名の児童生徒を受け入れることになりました。

昨今、教育を受ける環境の選択肢が増えていきます。少人数、自然が豊か、静かな環境で生活してみたい。このようなチャレンジ精神から離島留学が注目されています。



佐藤 滉治さん

